

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型

No.

1002003

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	大型ごみ収集	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課	
		(連絡先)	213-4960	
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html		(評価票作成者)	まち美化推進課長 鈴木隆志

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 効率化等による見直し	24予算額 (千円)	事務事業の内容 市民から排出される大型ごみを電話申込により受け付け、有料で収集する。	
400,006	397,413		377,399		
業務運営方法	☐ 直営	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 (委託先) 洛北運輸(株), 京和産業(株), (有)大成浄美社, 大同興業(株), (有)共栄産業, (有)和田産業 (内容) 大型ごみの収集運搬			
	☒ 部分委託				
	☐ 部分補助等				
	☐ 全部委託				
	☐ 全部補助等				
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例, 同規則			事務事業の性格	☒ 義務的事業 ☐ 任意的事業
				会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H 2 2 年度決算	H23年度予算	H24年度予算	
	①	事業費 (千円)	419,784	412,450	400,006	397,413	377,399	
		役務費 (通信運搬費)		5,772	5,687	5,437	7,008	6,307
		その他		7,405	7,322	7,832	6,850	8,328
	①'	委託料 収集運搬等	406,607	399,441	386,737	383,555	362,764	
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)	96.9%	96.8%	96.7%	96.5%	96.1%	
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	79,270	81,577	55,036	54,158	54,158	
		職員(課長級) (人)		0.63	0.78	0.53	0.53	0.53
		職員(課長補佐級、係長級) (人)		1.56	2.54	1.74	1.74	1.74
		職員(係員) (人)		5.52	3.91	2.10	2.10	2.10
		嘱託職員等人件費 (千円)		8,308	12,998	14,056	13,178	13,178
	④	年間経費 (①+③) (千円)	499,054	494,027	455,042	451,571	431,557	
⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)	193,654	176,958	174,194	170,492	175,418		
	国庫・府支出金 (千円)							
	受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)		193,654	176,958	174,194	170,492	175,418	
	その他 () (千円)							
⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	305,400	317,069	280,848	281,079	256,139		
⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)	38.8%	35.8%	38.3%	37.8%	40.6%		

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名 大型ごみ収集

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2 年度	
	①	世帯数		世帯	671,261	676,061	682,366
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）		千円	499,054	494,027	455,042
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	743	731	667
	④	単位当たり経費変動率				-1.7%	-8.7%
					評価	良くなった	良くなった
分 析	（コスト変動の理由等）						
	平成 2 1 年度と比べ、平成 2 2 年度の経費が減少したため効率性が良くなった。 収集運搬委託料など経費を削減したため、効率性がよくなった。						
B 市民満足度	＜調査の有無＞		＜調査方法＞		＜調査時期＞		
	□ 有 □ 無 ■ 該当しない						
	（調査結果、現状分析等）						
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	■ 環境	＜現状分析、今後の方針等＞					
	□ 関連	環境保全事業そのものであり、今後も継続していく。					
	□ 一般						

平成23年度の実施状況

一般家庭から排出される不要となった家具、電化製品等の大型ごみについて、平成23年4月から11月まで約119,000件の申し込みを受け付け、収集を行っている。

Ⅲ 今後の方向性

効率化等による
見直し

（今後の方向性の理由及び具体的な内容）

引き続き現在の手法で実施するが、契約手法の見直しによる経費の節減を図る。